

# 1. 政策コスト分析とは

## 【導入の経緯】

- 平成9年11月、「財政投融资の抜本的改革について(資金運用審議会懇談会とりまとめ)」において、将来の国民負担に関するディスクロージャーや財政の健全性を確保する観点から、政策コスト分析の導入について提言。

(注)資金運用審議会懇談会は、財政投融资について、改革を推進するとの基本方針の下に、その制度・運営のあり方について本格的な検討を進めるため、資金運用審議会(財政投融资分科会の前身)の下に設置されたもの。

- 平成11年度より試行的に分析を開始し、財投改革が行われた平成13年度より本格的に実施。

## 【目的・意義】

- 財投対象事業では、受益者負担を軽減するため、事業実施機関に対して国から補助金等が投入される場合があるが、政策コスト分析においては、このような補助金等が将来どの程度見込まれるか試算。
- 試算された「政策コスト」を開示することにより、将来の国民負担に関するディスクロージャーの充実が図られ、財投の透明性が向上。

## 2. 分析の枠組み

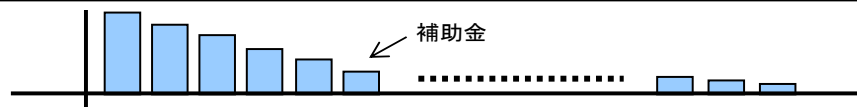
○ 各財投機関において、一定の前提条件を設定した上で将来キャッシュフロー(資金収支)等を推計し、これに基づき

- ① 将来、国からの支出が見込まれる補助金等の額
- ② 将来、国への納付が見込まれる国庫納付・法人税等の額
- ③ 出資金等による、国にとっての機会費用の額

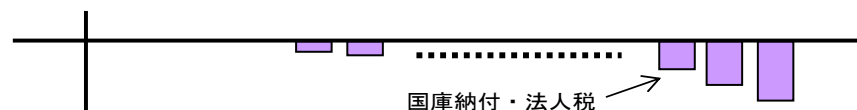
を試算し、割引現在価値に換算の上、政策コストを試算。

### ○政策コストのイメージ

① 補助金等(将来、国から支出されると見込まれる金額)

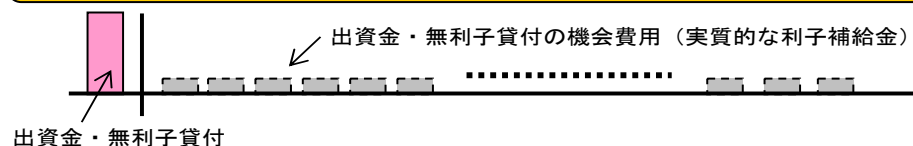


② 国庫納付・法人税等(将来、国に納付されると見込まれる金額)



<①-②の現在価値を求める>

③ 出資金等による機会費用(=利払軽減効果)(国から支出されない概念上の費用)



政策コスト=①補助金等-②国庫納付等+③機会費用

### 3. 主な分析手法

○ 政策コスト分析では、財投の透明性向上を図るため、様々な分析手法を導入。

#### (1) 経年比較分析(実質増減分析)

- 各年度の政策コストの水準は、試算の前提となる金利水準等が異なるため、単純に比較できない。
- 前年度分析と比較するため、前提金利等の影響を控除した実質増減額を把握。

#### (2) 感応度分析

- 政策コスト分析は一定の前提に基づいた試算であるため、前提条件によって政策コストも変化。
- 前提条件が変化(例:前提金利が1%上昇)した場合の政策コストの増減額を把握。

#### (3) 発生要因別政策コスト内訳

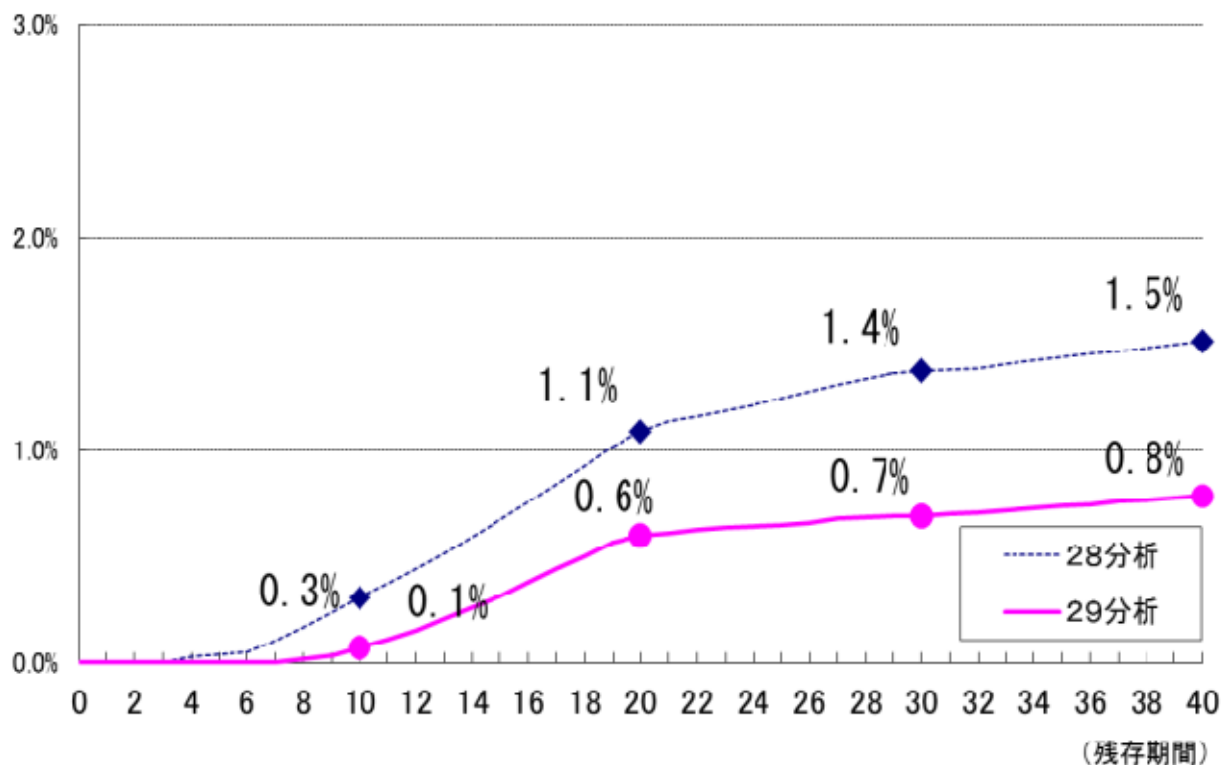
- 政策コストが発生する要因を分析するため、共通する要因ごとに政策コストの内訳を試算。
- 融資事業を行う機関(例:日本政策金融公庫)において、繰上償還や貸倒が政策コストに与える影響額を把握。

## 4. 試算の前提となる金利水準

○ 政策コスト分析では、毎年度の予算概算決定日の国債流通利回りに基づき前提金利(割引率、将来金利)を算出し、全機関共通の前提条件として設定。

→ 29年度分析における前提金利は、日本銀行の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入(H28.1.29)の影響等により、前年度分析と比べて低下。

スポット・レート・のイールドカーブ



(参考)各年度の予算概算決定日

平成28年度	平成27年12月24日
平成29年度	平成28年12月22日

## 5. 分析結果の概要

- 29年度の政策コストの合計は△1.4兆円(25機関)。
  - 前年度と比べて1.7兆円減少。
  - 政策コストを構成要素別に分解すると、「国にとっての機会費用」が前年度と比べて減少。

(注)「機会費用」の減少は、主に前提金利の低下による影響。

### ▼ 政策コストの合計(構成要素別)

(単位:億円)

	29年度	28年度	増減
政策コスト(①+②+③)	△ 14,280	2,364	△ 16,644
① 国からの補助金等	17,848	6,972	+ 10,876
② 国への納付金等	△ 65,068	△ 54,126	△ 10,942
③ 国にとっての機会費用	32,940	49,519	△ 16,578

(注)28、29年度において分析対象となる事業に相異があるため、上記の増減だけをもって財政投融资対象事業を評価することは適当でない。

- 各種分析結果の概要は以下のとおり。

(1)経年比較分析：29年度分析における実質的な増減は合計0.3兆円の増加。

(2)感応度分析：前提金利が1%上昇した場合、政策コストは合計5.6兆円の増加。

## 6. 主な機関の政策コスト

(単位:億円)

機 関 名	政策コスト	機 関 名	政策コスト
(株)日本政策金融公庫	8,421	(独)日本高速道路保有・債務返済機構	8,387
(株)国際協力銀行	717	(独)水資源機構	581
(独)国際協力機構	1,732	地方公共団体金融機構	△ 6,314
(独)日本学生支援機構	1,454	(国研)森林研究・整備機構	6,761
(独)国立病院機構	1,298	(株)日本政策投資銀行	△ 3,421
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	10,264	新関西国際空港(株)	△ 744
(独)住宅金融支援機構	678	中部国際空港(株)	△ 646
(独)都市再生機構	△ 43,526	その他10機関	78
合 計			△ 14,280

(注)政策コストの額は、機関毎に異なる分析期間や事業見通し等の前提条件の下に推計されたものである。

## (1) 経年比較分析(実質増減分析)

○ 前提金利等の変化の影響を除いた政策コストの実質的な増減額は、0.3兆円の増加。

(単位:億円)

機 関 名	実質増減額	機 関 名	実質増減額
(独)国際協力機構	+ 1,594	(国研)国立がん研究センター	+ 110
(株)日本政策金融公庫	+ 1,361	(株)国際協力銀行	+ 101
(独)都市再生機構	+ 1,020	日本私立学校振興・共済事業団	△ 111
(独)日本学生支援機構	+ 390	(株)日本政策投資銀行	△ 495
(独)国立病院機構	+ 359	(独)日本高速道路保有・債務返済機構	△ 696
新関西国際空港(株)	+ 354	地方公共団体金融機構	△ 1,610
(国研)森林研究・整備機構	+ 284	その他12機関	△ 68
合 計			+ 2,594

## (2) 感応度分析(①前提金利+1%)

○ 感応度分析では、一部の前提条件を変化させることによって政策コストがどれだけ増減するかを試算。

【感応度分析①】前提金利が1%上昇した場合

(単位:億円)

機 関 名		増減額	機 関 名		増減額
事業系機関	(独)都市再生機構	+ 20,789	融資系機関	(独)国際協力機構	+ 7,699
	(独)日本高速道路保有・債務返済機構	+ 10,516		(株)日本政策投資銀行	+ 5,871
	新関西国際空港(株)	+ 1,119		(株)日本政策金融公庫	+ 3,319
	(独)国立病院機構	+ 1,035		地方公共団体金融機構	+ 2,617
	(国研)森林研究・整備機構	+ 466		(株)国際協力銀行	+ 1,016
	中部国際空港(株)	+ 249		(独)日本学生支援機構	+ 489
	(国研)国立がん研究センター	+ 204		日本私立学校振興・共済事業団	+ 233
	(独)水資源機構	+ 140		(独)福祉医療機構	+ 220
	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 (建設勘定)	△ 696		その他6機関	+ 92
	その他3機関	+ 141		合 計	+ 55,519



## (2) 感応度分析 (②貸倒償却額+10%、③事業収入△10%)

【感応度分析②】貸倒償却額が10%増加した場合

(単位:億円)

機 関 名	増減額
(株)国際協力銀行	+ 704
(独)国際協力機構	+ 649
(株)日本政策金融公庫	+ 446
その他8機関	+ 204
合 計	+ 2,002

【感応度分析③】事業収入が10%減少した場合

(単位:億円)

機 関 名	増減額
(独)日本高速道路保有・債務返済機構	+ 2,835
(国研)森林研究・整備機構	+ 177
中部国際空港(株)	+ 133
新関西国際空港(株)	+ 101
合 計	+ 3,245

### (3) 発生要因別政策コスト内訳

○ 融資事業を行う機関については、政策コストを発生要因別に分解し、特に繰上償還と貸倒について内訳を試算。

(単位:億円)

機 関 名	(A)+(B)+(C) 政策コスト	(A)	(B)	(C)
		うち 繰上償還 による影響額	うち 貸倒 による影響額	うち その他 (利ざや等)
(株)日本政策金融公庫	8,421	779	4,672	2,971
(独)国際協力機構	1,732	-	3,952	△ 2,220
(独)日本学生支援機構	1,454	△ 227	456	1,225
(株)国際協力銀行	717	274	6,984	△ 6,541
(独)住宅金融支援機構	678	△ 213	571	320
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	△ 137	-	△ 9	△ 128
(独)福祉医療機構	△ 205	19	6	△ 229
(株)日本政策投資銀行	△ 3,421	9	589	△ 4,020
地方公共団体金融機構	△ 6,314	15	-	△ 6,330
その他5機関	△ 30	215	191	△ 436
合 計	2,894	871	17,411	△ 15,388